

■松山市総合計画基本構想（素案）に関するご意見

資料1

□まちづくりの基本目標以外に関するご意見

ご意見要旨	発言/記述 委員	意見 区分
資料の書き方について、「方向性」や「取組の柱」だけでは具体的な取り組みが見えてこないなので、具体的な事業を書いてほしい。	甲斐委員	審議会
基本構想にも、実施計画で示すような細かい数値目標ではなくとも、最終目標である「笑顔」を実現するための、大きな意味での数値目標的なものを示し、「夢のある数値を実現しましょう」という観点で捉えてはどうか。	門田委員	審議会
全体的に、「方向性」も、「背景・根拠」も、松山ならではの問題や状況、現状実施している施策などを元にして書くほうがよい。市民にもこれを見せて、これで頑張っていくことを示すのであれば、市の現状とそれに対応する具体的な取組を明確にするべき。	甲斐委員	審議会

■松山市総合計画基本構想（素案）に関するご意見

□まちづくりの基本目標（健康・福祉、自治・行政）に関するご意見

(1)「健やかで優しさのあるまち(健康・福祉)」(P.11)に関するもの

キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	基本計画 体系該当箇所	意見 区分
弱者への配慮が少ない	全体的に弱者(精神疾患、生活困窮者、母子家庭、要介護者、介護者、高齢者、IT弱者)への配慮が少ない。	三浦委員	1 健やかで優しさのあるまち	追加
予防の視点が少ない	どの項目を見ても「こうなった時にこうしましょう」ばかりで、「こうならないようにこうしましょう」という視点が無い。どうすれば自分たちが健康になるかを子どもにも教育することが必要ではないか。	久保委員	1 健やかで優しさのあるまち	審議会
マイナス表現が目立つ	行政にとっては非常に困った問題であるとは思いますが、前向きのビジョンを示そうというなかで、「救急車の適正使用に向けた受診行動の促進」や、「救急病院の安易な利用を抑制する」という表現が目立つ。また、「未婚化、晩婚化、非婚化の対策」とあるが、「対策」という表現は、晩婚化や未婚化、非婚化がいけないことであるという前提があるように感じられる。	三浦委員	1 健やかで優しさのあるまち	審議会
妊娠・出産支援について	「妊娠・出産支援の充実」は、どちらかといえば、「出会いからの環境整備」ではなく「子育て環境の充実と整備」に含まれるのではないか。	溝垣委員	11 地域全体で子育てを支える社会をつくる	追加
タイトルと内容の整合について	大項目に「地域全体で」という文言を使用するならば、地域にも働きかける内容が項目に盛り込まれると、大項目のタイトルと整合すると思う。	畔地委員	11 地域全体で子育てを支える社会をつくる	審議会
子どもの健やかな成長を一連の流れとして把握	「子どもの健やかな成長の促進」については、一連の流れの中で考えていくことが重要。例えば、虐待については、青少年センターでの活動や児童相談所等との関わりが、健やかに育てるための予防であるため、今後表現を具体化する際に近づけていきながら、流れとして表現できれば理解しやすい。	宮内委員	11 地域全体で子育てを支える社会をつくる	審議会
子どもをもつ若い世代への優遇措置	20代で結婚し、子どもを産んだ夫婦の税金を軽減するなどの仕組みづくりが必要ではないか。条件を満たした人にカードを配り、提示すれば消費税分を割引(消費税を免除)するなど。	小林委員	1111 子育て支援の充実	追加
子育てに関する課題を抱える家庭や青少年の自殺への対応	「子育てに関する課題を抱える家庭へのきめ細かな対応」では方向性が2つ示されているが、内容が重複している。また、ここでは取り上げられていないが、いじめによる青少年の自殺は全国的に深刻な問題であり、その対策も教育機関と協力しつつ取り組むべきではないか。	溝垣委員	1111 子育て支援の充実	追加

キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	基本計画 体系該当箇所	意見 区分
高齢者の健康にも生活習慣病等の予防の観点が必要	内容が介護予防に偏っているが、生活習慣病などの予防という視点を前面に出したほうがよい。健康な高齢者づくりは生きがいづくりだけではなく、健康づくりを強化していくことこそ、後期高齢者になっても健康で過ごせる元になる。	宮内委員	1211 高齢者の健康維持の推進	審議会
在宅介護をする家庭への支援のあり方	在宅介護は将来的に誰でも直面する問題だが、仕事を持っていると難しい。また、ヘルパーなどの支援を受けても、家族の経済負担が大きくなると思うので、そのあたりの対策も必要である。	溝垣委員	1212 愛着のある地域に住みつづけられる環境づくり	追加
文章表現について	「愛着のある地域」という表現は情緒的すぎるのではないか。	三浦委員	1212 愛着のある地域に住みつづけられる環境づくり	追加
仕事と介護の両立	働きながら介護ができなければ経済的な問題が生じるため、仕事と介護の両立という視点が必要である。	堀田委員	1212 愛着のある地域に住みつづけられる環境づくり	審議会
事態に直面する前の学習機会の設置	普通、事態に直面しなければ介護の情報は収集しません。予防措置的に、若い人向けに介護や子育てについて、一緒に教育する機会も必要ではないか。	堀田委員	1212 愛着のある地域に住みつづけられる環境づくり	審議会
介護関連企業の誘致	在宅支援が必要であれば、在宅サービスを提供する企業を積極的に誘致してはどうか。	小林委員	1212 愛着のある地域に住みつづけられる環境づくり	審議会
地域包括ケア体制の具体的な内容	「地域包括ケア体制の整備」という言葉だけでは、地域包括ケアセンターをつくらうというのか、それも含めた地域全体の地域力を上げようというのか、具体策が浮かんでこないなので、別の表現のほうがよい。	門田委員	1212 愛着のある地域に住みつづけられる環境づくり	審議会
文章表現について	取組の柱:障がい者への理解促進 「福祉施設からの退所者の受け皿の整備」は理解促進の内容とは言えないのではないか。	三浦委員	1221 障がい者支援の充実	追加
精神障がい者への理解不足	身体障がい者の手帳は松山市、精神障がい者は愛媛県が発行している関係で、松山市は精神障がいに対して理解が少ないのではないか。	高市委員	1221 障がい者支援の充実	審議会
精神障がい者の余暇活動	障がい者に関連して、スポーツ活動や文化活動等の余暇活動については、積極的に機会をつくっていただきたい。	高市委員	1222 障がい者の社会参加・雇用の促進	審議会
市の障がい者雇用の状況	取組の柱:障がい者の就労機会の確保 市職員の雇用は基準をクリアしているか。	三浦委員	1222 障がい者の社会参加・雇用の促進	追加

(6)「市民とつくる自立したまち(自治・行政)」(P.13)に関するもの

キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	基本計画 体系該当箇所	意見 区分
活動団体への支援について	「現状と課題」では、「団体への寄付の動きの活性化とあるが」、これを市が行うことは、市が直接支援しないといているようなものではないか。	三浦委員	61 市民参画を推進する	追加
男女共同参画について	女性登用より就業率のほうが重要である。 また、男女共同参画社会実現の第一歩が市での女性登用というのは、寂しいのではないか。	三浦委員	61 市民参画を推進する	追加
市民が活動の場として公共施設を利用する際の使用許可の可否判断	(取組の柱:地域コミュニティ活動の拠点整備) 地域福祉の観点から重要な項目だが、現状では福祉活動や住民活動の拠点がなく、個人宅を利用せざるを得ないことも多いと聞く。住民の主体的活動を支える上では、公共の場を柔軟に活用できるようになればよい。市役所が使用許可を出す際には、担当課別に使用の可否を判断するのではなく、市民の利益を優先的に考えて、課を越えて活用しうるものを活用できるような状況になれば良い。	畔地委員	6111 地域団体活動への支援	追加
港湾周辺地域の活性化	(取組の柱:まちづくり協議会などの地域団体への活動支援) 「堀江航路廃止に伴い港周辺のにぎわいは喪失され人通りも年々減少する傾向にある。」とあるが、三津浜港及び松山観光港も同じ状況にある。にぎわい活性化問題は、堀江に留まらず海の玄関口の総合政策が必要と考える。空港港湾課との連携はもっと広く行うべきと考える。真の松山の海の玄関を一極集中しハブ港として機能強化すれば、海がもっとクローズアップされると思う。	磯村委員	6111 地域団体活動への支援	追加
子どものまちづくりへの参加の権利を保障	取組の柱:まちづくり協議会などの地域団体への活動支援 方向性として、「未来を担う子どもを地域の構成員として認め、積極的に活動への参加を促進する地域への支援」を追加してはどうか。(参照:子どもの権利条約)	鮎川委員	6111 地域団体活動への支援	追加
中間支援機関の強化	取組の柱に、「NPOなどの市民活動団体への活動支援」として中間支援機能の強化を追加してほしい。	甲斐委員	6112 市民協働の推進	審議会
民間の活動に対する行政の理解促進	市民協働を推進するためには、行政側の理解促進も必要なので、行政が市民協働について学ぶ機会を設けるという項目も必要である。	甲斐委員	6112 市民協働の推進	審議会

キーワード	ご意見要旨	発言/記述 委員	基本計画 体系該当箇所	意見 区分
部局横断の実施体制による 行政評価の推進	取組の柱:行政評価の推進 行政評価の推進に当たっては、部局を横断した視点で実施する体制を確保することを追記したい。	鮎川委員	62 地方分権社会を推進する	追加
「指定管理制度の適正化」 の具体的な内容	「民間との役割分担」の「指定管理者制度導入施設の検討」について、「事業の委託範囲や発注方法などの適正化」とは、具体的にどのようなことを想定しているのかを書き込んでほしい。	甲斐委員	6211 効率的な行政を推進 するための体制強化	審議会
職員提案制度の現状を踏ま えた取組	「職員のやる気を引き出す組織風土の醸成」とあるが、職員による提案制度は機能しているのか。提案制度が機能しているか否かを踏まえた具体的な取組を書いたほうがよい。	甲斐委員	6212 職員の資質向上	審議会
競輪の取扱	競輪をもっともっと頑張ってもらおうということが書いてあるが、このような場所に大々的に出すことには若干の違和感がある。	三浦委員	6213 健全な財政運営	審議会
手続き利便性の向上	最近スーパーや百貨店内で、土日でも手続きが簡単にできるようになっている。セキュリティなどいろいろな問題はあがるが、インターネット上でも手続きができればよいと思う。	溝垣委員	6215 手続きの利便性の向上	追加
地域福祉活動における個人 情報の取り扱い	方向性に示される内容から適正な運用がなされるため、特に問題のない点だと思うが、地域福祉、とりわけ民生委員の活動における報告などから、緊急時に情報を得られず早期対応が出来なかった事例を多く聞くため、この点も対策が組まれる流れが入っていると良い。	畔地委員	6223 情報公開・個人情報保 護の推進	追加
道路に関する地元の意見集 約	高速道路、一般国道に対する松山市の(地元)意見集約は出来ないのか。県や国への提言はどうなるのか。	久保委員	623 地方分権に対応する体 制の整備	追加
協議会の名称の確認	(取組の柱:広域連携の推進) 「瀬戸内・海路ネットワーク推進協議会」とあるが、「海の道」ではないか。	磯村委員	6231 多様な地域との連携強 化	追加